

今年度、みらいの在り方創造委員会では、『在り方』をキーワードに将来の浦安の在り方、市政への在り方、そして浦安青年会議所の在り方や運動の方向性等、対内・対外を問わず意識を高め主体的な関わりができる人材の育成と機会の創造を行い7つの活動を実施致しました。

4月第一例会「トップアスリート育成者に学ぶ、成果を出すチームの作り方」では組織の在り方・運動の意義を考え共有する事業を開催し、人気講師による日本有数の組織を創り上げ運営されてきた極意を学び、さらにそこで得た学びを基に今後の浦安青年会議所の在り方、運動の意義について考え、参加メンバーがグループディスカッションを行いました。

8月第一例会では「あなたがまちのプロデューサー～みらいの浦安をデザインしよう～」を開催し、若者たちが浦安市の未来の理想像について真剣に考えることによって、「市民としての当事者意識に目覚める」「主体性をもってまちづくりへ参加する」「愛郷心を持って浦安市に定着する選択をする」などの行動変容を促しました。また、浦安青年会議所メンバー自身も、浦安市のビジョンと政策を考えるプロセスを経験することで、浦安市の未来を真剣に考える若者と経験を共有し、新たな気づきを得ることができました。この事業は9月その他事業、10月その他事業として、模擬報告会並びに報告会を行い最優秀グループの選出を行いました。

10月第一例会「あなたの選択がみらいを創る～浦安市長選挙公開討論会～」では市民一人ひとりが当事者意識を持って政治に関心を持ち、明るい豊かな社会づくりに主役として参画するきっかけとすることを目的として、e-みらせんの活用・マニフェスト型公開討論会・屋外での開催・サテライト会場との同時進行等、様々なチャレンジをしながら多くの市民並びにLOMメンバーにも、我がまち浦安のみらいの在り方を考える機会を創出しました。

また、11月下旬から12月初旬にかけては衆議院解散に伴い、有権者に投票を呼び掛ける運動としてe-みらせんの準備と、選挙区内で発行される広報媒体各紙に対して投票率の向上と政策本位の政治選択を目的としてe-みらせんの広報周知記事の掲載依頼を実施しました。

さらに、浦安青年会議所設立35周年を迎えることを機に、5カ年運動方針を策定することで「愛郷心あふれる人財が躍動する未来へとつながる浦安の創造」の為のまちの未来に向けて、中長期的なビジョンを持って方針を定めました。

あわせて、多くの市民に利他の心を醸成するために、浦安JCが生み出した日本初の市指定寄付金付ごみ袋「ゆめクルン」の認知向上及び普及促進運動の展開として、販売取扱拠点の拡大において行動しましたが、こちらは十分な普及推進を実現することが叶わず、課題を残す形となってしまいました。

12月には35周年事業の準備として歴代理事長への式典案内並びに招待状のお届けを行い、諸先輩方からの教えを謙虚に学び、大局観を持って未来へと臨み、新たな価値を創造していくための橋渡しとしての役割を務めさせていただきました。

最後に、入会歴が浅く初委員長の大役を務めさせて頂く機会を頂戴し、慣れないことも多く理事メンバーの皆様と委員会メンバーの皆様にはご迷惑をおかけ致しましたが、様々な場面で多くの方にサポートして頂き、1年間みらいの在り方を創造する運動展開を行うことができましたことに、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。1年間ありがとうございました。